



非情&悪辣な人事異動

TAKAO STATION MAIL NEWS
JR東日本輸送サービス労働組合 八王子地本 Vol. 009
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-HACHIOJI 2022.04.10

ハンデ(障がい)のある社員に対する やりがい搾取(パワハラ)は許せない!

聴覚にハンデがあるが、窓口業務を担ってきた。飛沫感染防止シートが入ったことで声が聞き取りづらくなっており、これ以上接客ができない。

接客はむづかしいことから非現業への異動を希望する。

大駅ではお客さまの声を集音マイクを使っても聞き取りづらい。小規模駅ならなんとか。

やり取りイメージ

大丈夫だ！健常者と同じように接客できている！

接客がむづかしいのなら改善する努力をしろ。非現業への異動については、お前のプライドが許さない働き方しか残らないだろう。

腕があるんだから、その力を発揮してこい！
(密室において支社・管理者3名で囲んで事前通知発令)

言葉巧みに誘導していますが、当該社員は今回の異動で「自分の耳の聞こえなさに悲しくなる日々をあと何年も続けられない」と吐露しています。

障がいの種類・度合いなど本人しかわからないことも多く、雇用する企業は当然一人ひとりにあった労働環境を提供すべきです。

2022年度八王子支社実行計画「変革の先へ～Change Challenge ハチオウジ～」

(9)社員が働きがいを感じ、いきいきと業務を行うことができる環境の実現において②育児・介護・障がい・国籍・LGBTQ等への理解を深める取組みと、職場環境整備の実施と謳っています。このままでは絵に描いた餅どころか、一連の発言・強制異動は障がいをもつ社員へのパワハラともいえます。非現業への異動が実現不可能なことなのでしょうか？本人希望が叶うことに問題があるのでしょうか？

**輸送サービス労組は弱い立場の味方です！
本人のためにならない人事異動はパワハラだ！
会社は働きやすい環境・異動を実現しろ！**

事情を踏まえた異動を申し出るも
現場長や管理者で取り囲み
「努力しろ」と一蹴

もはや
パワハラ同然
「社員の幸福実現」とはどの口が言っているのだろうか。もはやそんな声が聞かれてもおかしくない職場実態の声が三多摩支部に届いた。JR東日本会社は障がいと向き合いながら自分の仕事を全うする社員に向けて、希望外の業種への異動を命じたのである。それも障害の程度には到底見合わない環境下での業務だという。それだけではない。異動を命じる際、現場長をはじめ複数の管理者に密室で囲まれたというのだ。丁寧な説明もなく、その状況はもはやパワハラであり、そこまでして本人の希望を無視した異動を命じたという現実を私たちは無視できないし、許すわけにはいかない。

**ESG 経営の実践→SDGs の実現と聞いて呆れる！
無理解な社風で安心して働けますか？**